

檀原先生をおくる

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2008-01-25 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 長沢, 敬之助 メールアドレス: 所属:
URL	https://doi.org/10.14945/00000260



Takeshi Dambara

檀 原 先 生 を お く る

檀原 毅先生は1986年3月31日をもって停年退官されることとなりました。

先生は1974年教養部教授として迎えられ、1978年に理学部に移られ、地球科学科地殻物理学講座を担当されて今日に至っております。その間多数の学生が先生のご薫陶をうけて卒業し、各方面で活躍しており、また地震予知その他社会的意義も大きい諸研究を推進されました。評議員その他各種委員として大学の運営にも貢献され、また地球科学教室の諸設備の充実、地殻活動観測施設の設置と充実についても格段のご尽力を頂きました。さらに地震予知関係をはじめとして学術会議、学会関係の種々の委員を歴任され、社会的にも大変活躍されました。

先生は以上のような各方面のご活躍ばかりでなく、温厚なお人柄と高い識見からいろいろの影響をまわりの者に与えて下さり、多くの人に敬愛されておりました。ここでご退官の時を迎えるのはむしろ残念なことでありますが、私ども先生のお志を体して当大学の地球科学研究の発展のため努力したいと考えております。ここに先生のご退官の1つの記念としてこの号を出版し、このような私どもの心持ちをこめて先生に捧げる次第です。

昭和61年3月20日

長 沢 敬之助

檀 原 毅 教 授 の 履 歴

だん ばら たけし
檀 原 毅

大正11(1922)年11月13日生

出身地 長野県上水内郡中条村(旧栄村)中条2,352番地

本籍地 東京都三鷹市大沢2丁目1,057番地

現住所 埼玉県浦和市根岸5丁目2-19-401

学 歴

昭和15(1940)年3月 長野県立飯山中学校卒業

昭和15(1940)年4月 松本高等学校理科甲類2組入学

昭和17(1942)年9月 同上卒業

昭和17(1942)年10月 東京帝国大学理学部天文学科入学

昭和20(1945)年9月 同上卒業

昭和20(1945)年10月～昭和22(1947)年9月

同上大学院(特別研究生)在籍

職 歴

昭和21(1946)年2月 東京天文台事務嘱託(無給)

昭和22(1947)年9月 文部省事務嘱託

昭和23(1948)年9月 東京天文台勤務 文部技官

昭和27(1952)年3月 建設省地理調査所に出向 建設技官

昭和35(1960)年9月 地理調査所、国土地理院と改称

昭和37(1962)年4月 国土地理院測地部測地第一課長
 昭和40(1965)年4月 同上企画監査室長
 昭和42(1967)年6月 同上企画室長
 昭和44(1969)年4月 同上参事官
 昭和49(1974)年4月 文部省に出向
 昭和49(1974)年4月 文部教官(静岡大学教授教養部)に転任
 昭和52(1977)年8月 静岡大学評議員(併任)
 昭和53(1978)年9月 同上併任解除
 昭和53(1978)年9月 静岡大学教授理学部に配置換
 昭和61(1986)年3月 同上停年退官

資格・経歴等

昭和31(1956)年7月20日
 測量士登録, 第33392号(建設省地理調査所 現国土地理院)
 昭和36(1961)年4月～現在
 日本測地学会委員
 昭和37(1962)年3月
 理学博士 [Studies on the Connection of Geodetic Networks in the Far East by Astronomical Method(天文学的方法による極東地域測地網の結合に関する研究)]
 昭和37(1962)年9月20日～昭和38(1963)年3月19日
 アメリカ合衆国およびカナダ国に出張(測地測量の自動処理の研究)
 昭和43(1968)年12月
 技術士本試験合格 [応用測量部門], 第10161号(科学技術庁)
 昭和44(1969)年4月～昭和61(1986)年3月
 地震予知連絡会委員
 昭和44(1969)年6月～昭和60(1985)年7月
 日本学術会議地球物理学研究連絡委員会委員
 昭和44(1969)年9月～昭和54(1979)年5月
 文部省測地学審議会臨時委員
 昭和46(1971)年8月1日～8月19日
 ソビエト連邦へ出張(第15回国際測地学地球物理学連合総会出席)
 昭和48(1973)年8月7日～8月17日
 アメリカ合衆国へ出張(日米地震予知セミナー出席)
 昭和49(1974)年5月26日～6月6日
 ソビエト連邦へ研修旅行(地震予知研究シンポジウム出席)
 昭和58(1983)年4月～昭和60年3月
 日本測地学会委員長

業 績 目 録

著書

- [測地・地球物理] (共著者：友田好文). 共立出版 K.K. 初版(1959), 第2版(1984)
- [測量の基礎]. 山海堂 初版(1959), 改訂版(1980)
- [土地建物の概要とその利用] (共著者：木村 孝). 日本不動産専門学校出版局(1970)
- [測量工学]. 森北出版 K.K. (1973)
- [大地を測る]. 出光書店(1976)
- [地震予知]. 海洋出版 K.K. (1976)
- [CURRENT RESEARCH IN EARTHQUAKE PREDICTION] (Edited by T. RIKITAKE): pp. 167-220; Geodesy and Earthquake Prediction. Center for Acad. Publ. Japan (1981)

論文

- DAMBARA, T. (1951), Photoelectric transit instrument. *Publ. Astr. Soc. Japan*, **3**, 37-41.
- DAMBARA, T. (1951), On the skewness of the velocity curves of the Cepheid variables. *Publ. Astr. Soc. Japan*, **3**, 74-81.
- DAMBARA, T. (1951), On the phase differences measured in the six-color photometry of Cepheid variables. *Publ. Astr. Soc. Japan*, **3**, 135-137.
- HURUHATA, M., DAMBARA, T. and KITAMURA, M. (1953), A photoelectric study of YY Eridani. *Ann. Tokyo Astr. Obs., Second Series*, **3**, 227-233.
- 奥田豊三・檀原 毅・大塚義徳(1953), 飛島の測地並びに天文位置の再測. 測地学会誌, **1**, 42-44.
- 奥田豊三・北野芳徳・檀原 毅(1955), 日本の一等三角網のよじれ. 測地学会誌, **2**, 8-15.
- 坪川家恒・檀原 毅(1957), 光点の光電観測の一方法とその測地学への応用について III. 子午線経過の観測. 測地学会誌, **4**, 15-23.
- 檀原 毅(1960), 異常質量塊の位置と深さの決定. 測地学会誌, **6**, 6-9.
- DAMBARA, T. (1960), The locality of the geodetic coordinate derived from the obscurity of the solar eclipse. *Bull. Geogr. Surv. Inst.*, **6**, 1-11.
- 檀原 毅(1961), 油壺における平均海水面の解析. 測地学会誌, **7**, 46-57.
- DAMBARA, T. (1962), Studies on the connection of geodetic networks in the Far East by astronomical method. *Bull. Geogr. Surv. Inst.*, **8**, 23-40.
- 檀原 毅・広部正信(1964), 日本における過去60年間の垂直変動 I. 総論および原点の永年変化. 測地学会誌, **10**, 6-13.
- 檀原 毅・広部正信(1964), 日本における過去60年間の上下変動 II. 関東地方南部. 測地学会誌, **10**, 61-70.
- DAMBARA, T. (1964), Vertical movements of the earth's crust in the southwestern part of the Kanto District. *Proc. U.S.-Japan Conference on Research Related to Earthquake Prediction Problems*, 29-32.
- 檀原 毅(1964), 日本における過去60年間の上下変動 III. 三浦半島特論. 測地学会誌, **10**, 71-82.
- DAMBARA, T. and HIROBE, M. (1964), Vertical movements of the earth's crust in the southern part of the Kanto District. *Jour. Geod. Soc. Japan*, **10**, 146-153.
- 檀原 毅(1965), 油壺における傾斜計記録と水準測量結果との比較. 測地学会誌, **11**, 107-113.
- 檀原 毅(1966), 新潟地震における地殻変動の測地学的調査の特質. 防災科学技術総合研究報告, no. 11, 19-31.

- TSUBOKAWA, I., DAMBARA, T. and OKADA, A. (1966), Crustal movements before and after the Niigata Earthquake. *The General Report on the Niigata Earthquake of 1964*, Tokyo Elect. College Press, 129-139.
- 檀原 毅(1966), 松代地震に関連した地殻の上下変動. 測地学会誌, **12**, 18-45.
- 檀原 毅(1968), 日本における過去60年間の上下変動 IV. 中部地方. 測地学会誌, **13**, 66-74.
- DAMBARA, T. (1968), Correlation of vertical movement and gravity anomalies in two zones of the Japanese Islands. *Geophys. Monograph*, no. 12. Amer. Geophys. Union, 307-311.
- 檀原 毅(1970), 地震エネルギー潜在区の分布図. 地震予知連絡会会報, **2**, 80-84.
- 檀原 毅(1970), 地域別地震の周期性と潜在エネルギー. 地震予知連絡会会報, **3**, 79-87.
- 檀原 毅(1970), 検潮による最近の関東南部の上下変動. 地震予知連絡会会報, **4**, 32-34.
- 檀原 毅(1970), 日本の平均海面における長周期変化. 測地学会誌, **16**, 127-136.
- 檀原 毅(1971), 地震エネルギー蓄積量について. 地震予知連絡会会報, **5**, 74-78.
- 檀原 毅(1971), 三浦半島の上下変動. 測地学会誌, **17**, 14-21.
- 檀原 毅(1971), 水準原点の最近10年間の永年変化. 地震予知連絡会会報, **5**, 64-66.
- 檀原 毅(1971), 日向灘地震と細島の上下変動. 地震予知連絡会会報, **5**, 57-58.
- 檀原 毅(1971), 日本における最近70年間の総括的上下変動. 測地学会誌, **17**, 100-108.
- 檀原 毅(1972), 水準網の調整について. 測地学会誌, **18**, 134-140.
- 檀原 毅(1973), 新潟地震前・時・後の地殻変動. 地震予知連絡会会報, **9**, 93-96.
- 檀原 毅(1973), 油壺の上下変動. 測地学会誌, **19**, 22-33.
- 檀原 毅(1973), 琵琶湖周辺の上下変動. 地震予知連絡会会報, **10**, 68-70.
- 兵庫県(檀原 毅)(1974), 兵庫県地域周辺における津波発生と被害想定調査報告書. 1-52.
- 檀原 毅・土 隆一(1975), 南伊豆における地殻変動. 1974年伊豆半島沖地震災害調査研究報告書, 103-106.
- 檀原 毅(1975), 川崎市の隆起について. 地震予知連絡会会報, **13**, 36-38.
- 檀原 毅(1975), 伊豆半島南部の上下変動. 地震予知連絡会会報, **14**, 69-72.
- 兵庫県(檀原 毅)(1975), 兵庫県における震災対策基礎調査報告書ーモデル地震と木造家屋倒壊率ー. 1-38.
- 兵庫県(檀原 毅)(1976), 兵庫県における震災対策基礎調査報告書ー被害地震の予測ー. 1-33.
- 檀原 毅(1976), 信号合致法による水平変位の調整. 測地学会誌, **22**, 1-9.
- 檀原 毅(1976), 中部地方の水平変動. 測地学会誌, **22**, 10-16.
- 檀原 毅(1976), 伊東市南部の重力異常. 静大地球科学研報, no. 2, 15-18.
- DAMBARA, T. (1976), Some leading ideas on research of crustal movements. *Jour. Geod. Soc. Japan*, **22**, 242-251.
- 檀原 毅(1976), B.M. 9338 周辺の重力異常. 地震予知連絡会会報, **16**, 101-102.
- 檀原 毅(1978), プロトン磁力計 G-836 について. 静大地球科学研報, no. 3, 35-38.
- 檀原 毅(1979), 山梨県東部の地震活動. 地震予知連絡会会報, **21**, 75-77.
- 檀原 毅(1979), 地震による地殻変動範囲とマグニチュードの関係(改訂式). 地震予知連絡会会報, **21**, 167-169.
- 檀原 毅(1980), 伊豆半島北東部の異常隆起について. 静大地球科学研報, no. 5, 1-15.
- 檀原 毅(1980), 1854年(安政)東海地震に伴った山崩れについて. 自然災害資料解析, **7**, 87-94.
- 檀原 毅(1980), 駿河湾基線網の水平ひずみ. 地震予知連絡会会報, **24**, 159-161.
- 檀原 毅(1980), 東海地震予知の問題点について. 地震予知研究シンポジウム報告集(1980), 地震学会, 85-95.

遠山忠昭・檀原 毅・里村幹夫(1984), 活断層調査のための γ 線測定方法の再検討. 地震, 第2輯, 37, 539-547.

報告・その他

Noise とエネルギー伝達. [天文月報] (日本天文協会), 第42巻, 第6号, 1949.

巨星の内部構造. [天文月報], 第43巻, 第5号, 1950.

変光星研究の進歩—観測的な二三の断面—. [天文月報], 第43巻, 第6号, 1950.

新星の話. [天文月報], 第44巻, 第4号, 1951.

理科年表解説 I. [天文と気象], 第17巻, 7-8号, 1951.

理科年表解説 II. [天文と気象], 第17巻, 9号, 1951.

成長曲線. [天文月報], 第44巻, 第11号, 1951.

子午儀の光電観測装置について(共著). [天文月報], 第49巻, 第5号, 1956.

日食・掩蔽の観測をどう利用するか. 新天文講座(恒星社厚生閣): 第VIII巻 [天体の位置計算] (清水 彊編), 第IX章, 1958.

水準および三角測量. 第1回 U.M.P. シンポジウム報告集, 61-74, 1962.

鉛直線偏差の話. 鍋木・宮地両教授還暦記念論文集, 384-393, 1963.

測地測量の仕事. 時事通信週刊グラフ教室; 指導の手引, 1964年6月23日号.

地震予知と地殻変動. 国土地理院時報, 第29集, 1965.

地図行政におけるテクノクラシー. 国土地理院時報, 第31集, 1966.

測量技術を学ぶ態度—測量技術者を志す人たちのために(1). [測量] (日本測量協会), 8月号, 1966.

測量機械のあつかい—測量技術者を志す人たちのために(2). [測量] (日本測量協会), 9月号, 1966.

測地測量. 第2回 U.M.P. シンポジウム報告集, 14-21, 1966.

地震と地殻変動. [地震] (地震学会), 第20巻記念特集号, 第4篇, 第2章, 222-228, 1967.

測量用語解説(連載)

測定と観測. [測量], 6月号, 1967.

精度. [測量], 7月号, 1967.

スフェロイドと回転楕円体. [測量], 8月号, 1967.

地理学的経緯度. [測量], 9月号, 1967.

垂直と鉛直. [測量], 10月号, 1967.

誤差の用語. [測量], 11月号, 1967.

高さと標高. [測量], 12月号, 1967.

測量用語解説(続)

トランシット測量, コンパス測量, etc.. [測量], 1月号, 1968.

望遠鏡の視準線に関する用語. [測量], 2月号, 1968.

測地原子. [測量], 3月号, 1968.

タキメトリー. [測量], 4月号, 1968.

局所引力とは何か?. [測量], 5月号, 1968.

測量器械の幾何光学(連載)

(1) 厚いレンズ. [測量], 6月号, 1968.

(2) レンズの収差. [測量], 7月号, 1968.

(3) アナラート式望遠鏡(その1). [測量], 8月号, 1968.

(4) アナラート式望遠鏡(その2). [測量], 9月号, 1968.

(5) 自動レベル. [測量], 10月号, 1968.

(6) 実体鏡. [測量], 1月号, 1969.

人工衛星と測地学の進歩. [地学雑誌] (東京地学協会), 第77巻, 第2号, 1968.

日本列島の地殻変動. [地球の科学] (日本気象協会), 1月号, 1970.

地図の測量と地球の形. 東書 [地学] (東京書籍), no. 97, 1971.

日本列島は地球のどこにあるか(連載)

(1) [測量], 1月号, 1973.

(2) [測量], 2月号, 1973.

(3) [測量], 3月号, 1973.

[測地学の概観] (日本測地学会20周年記念出版), 第II部第3章地殻変動: §3.2.1.地震前後の地殻変動, 250-254.; §3.2.3.地震予知への可能性, 257-261, 1974.

静岡県下の地震活動. 静岡県地震対策基礎調査報告書, 第1章, 1-13, 1975.

[適正規模論] (菊地 隆編, 日本放送出版協会): 第13章地震予知, 1976.

天文測量のポイント(連載)

(1) [測量], 3月号, 1977.

(2) [測量], 4月号, 1977.

(3) [測量], 6月号, 1977.

静岡県地震対策基礎調査報告書・第2次調査—地震予知—, 1-43, 1978.

地震予知の事例とその問題点. [科学の実験] (共立出版 K.K.), vol. 30, 720-724, 1979.

地殻変動—過去と現在—. 東書 [地学], no. 209, 1-5, 1981.

静岡大学地殻活動観測所の概要. 静岡大学地球科学研究報告, no. 6, 25-34, 1981.